

講演概要

タイトル: マルチプローブ ITS 調査研究

講演団体: 株式会社野村総合研究所

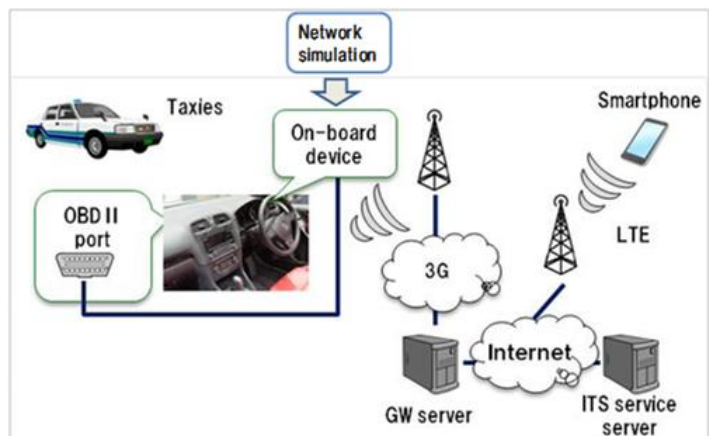
無線通信の発展に伴い、車両からの情報を取得して様々なサービスで活用するプローブサービスも急速に増加している。リアルタイムで車両の情報や車両周辺の情報取得できるプローブサービスは交通情報の提供等に加えて、災害時等における各エリアの状況の把握や、車両のモニタリングなど幅広い分野での活用が可能である。

一方でスマートフォンの急激な普及によって、無線通信のトラヒックは急増している。今後ますます増加していくプローブサービスにおいても効率のよい通信の考え方を検討することが必要となる。

本調査研究においては、将来におけるプローブサービスを踏まえながら通信レイヤーにおける工夫の考え方を検討し、タクシー100台を用いた実証実験を行った。

本講演においては、将来におけるプローブサービスの姿を展望し、実験から得られた通信レイヤーにおける工夫の効果などについて論じる。

- 100台のタクシーに車載機を搭載した実証実験を実施
- 実走行時のプローブデータを収集
- 実証実験に先立ちネットワークシミュレーションを実施



実証実験の概要